

# 車種別接続情報

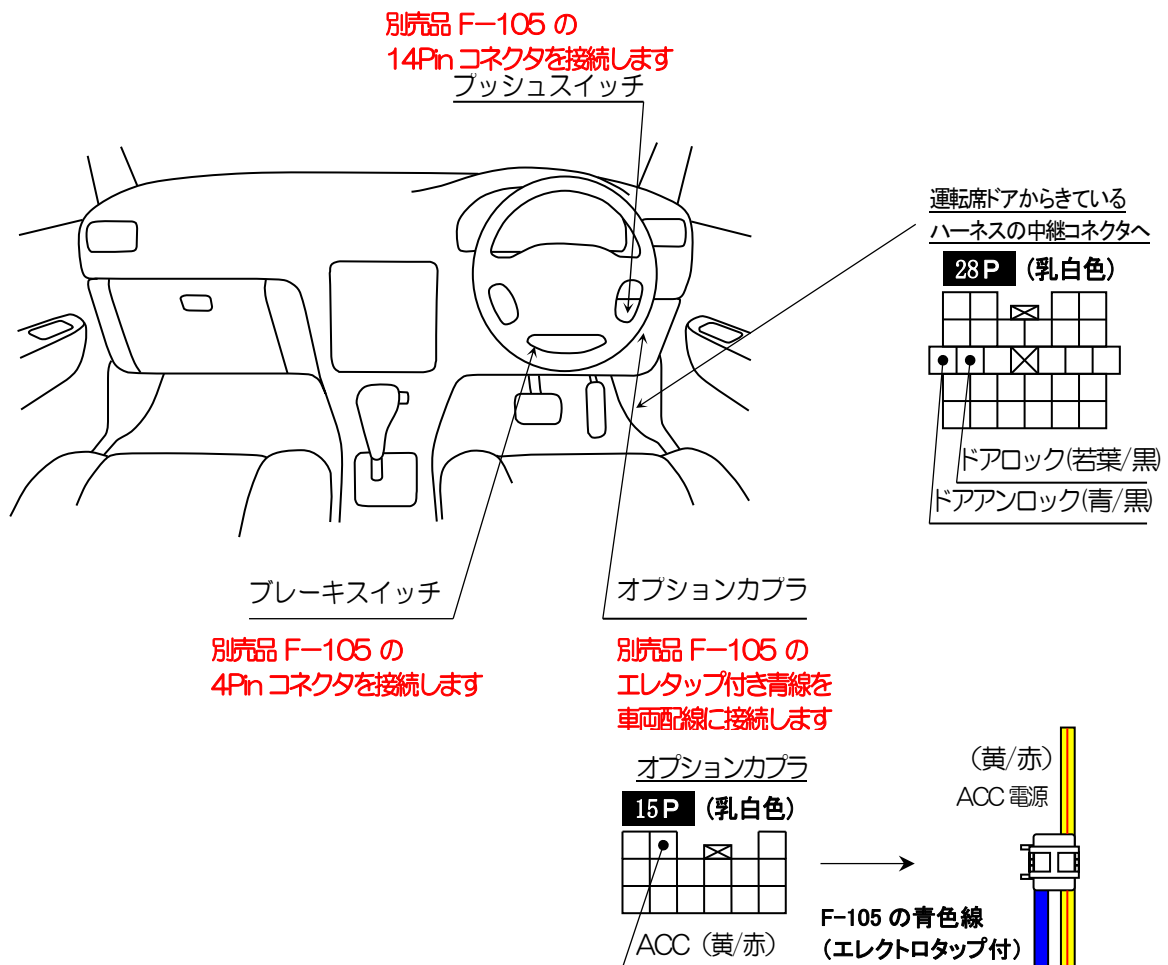
管理 No. F-0051

メーカー	スバル	車体型式	GJ、GP系
車種	インプレッサ（プッシュスタート装備車）	年式	H23.12～H28.10
専用ハーネス	F-105 & J-196 または F-105 & J-190Ⅱ		

- 取付には、**純正の電子キー（予備キー）**が別途必要になります。
- H26.11～の車両は、F-105 & J-196 のみ取り付け可能です**（J-190Ⅱを使用しても取り付けできません）
- エンジンイモビライザー対応のエンジンスタターが取り付け可能です。（詳しくは車種別ハーネス適応表をご確認ください）
- 単方向エンジンスタターやVE-Eps5\*は取り付けできません。
- エンジンイモビライザー標準装備のため、イモビ対応アダプターJ-196またはJ-190Ⅱを使用しないとエンジンスタターの取り付けはできません。
- エンジンスタターの設定項目で**エンジンスタター特殊制御の設定をOFF**に変更してください。（キー飛び込みエラーになりスタターでエンジン始動できません）
- オルタネータ線（L端子）の接続はできません。
- 電気式ドアロックスイッチ（ドアロックスイッチで全席のドアロック制御が可能なもの）装備車のみドアロック制御の取り付けが可能です。  
キーレスエントリー（A-17SF）オプション対応の機種 ⇒ **キーレスエントリーA-17SFが別途必要**です。

### 【エンジンスタター使用上の注意】

- エンジンスタターによるアイドリング時の使用制限
  - ・エンジンスタターでのエンジン始動/停止後は、スマートキーによるアンロックはできません。
  - ・エンジンの始動/停止時にストップランプが2秒間点灯します。
- その他使用制限
  - ・ターボタイマー機能は使用できません



※ 車両に付属している電子キーをご用意ください。

→ エンジンスターターでの始動にあたり、J-196 または J-190 II に電子キーを内蔵させる必要があります。

＜電子キーをJ-196 または J-190 II に収納する＞

- 電子キーのケースを開け基盤を取り出します。
- 電池を取り外し、同じタイプのダミー電池を取り付けます
- ダミー電池の端子 (2Pin) を J-196 または J-190 II に接続し、電子キー (基盤) を収納します。

ダミー電池の取付

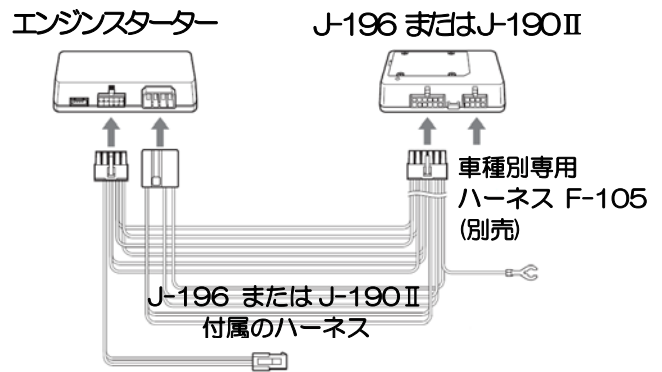


電池を取り外し  
代わりに付属  
のダミー電池  
を装着します

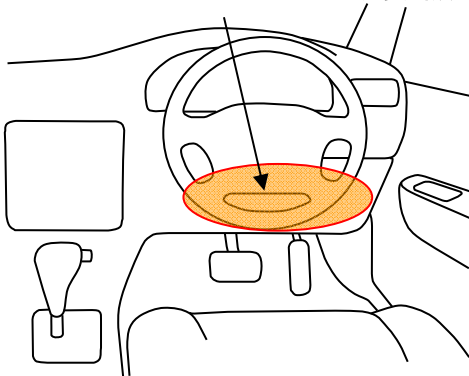
【注意】

H26.11～の車両では、J-190 II は使用できません  
必ず、J-196 を使用して取り付けしてください

エンジンスターターとの接続



J-196 または J-190 II 設置推奨場所



＜ J-196 または J-190 II 設置時の注意事項 ＞

- オーディオ裏や金属で覆われた場所などには設置しないでください。  
エンジンスターターでの始動ができないことがあります。
- 車両のプッシュスタートスイッチの近く (10cm 以内) には設置しないでください。
- 熱風や水のかかる場所には設置しないでください。

全ての接続が終了したら、パーキング (P) ・ポジション自動検出の設定、エンジンスターター特殊制御設定の変更を行います。

● パーキング (P) ・ポジション自動検出の設定

- 1) スタータユニットの電源投入後、ジャンクションユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。
- 2) シフトレバーがパーキング (P) ・ポジションに入っていることを確認します。
- 3) スマートキーを携帯し、フットブレーキを踏まずにプッシュスタートスイッチを押して IG を ON にします。  
(プッシュスタートスイッチを押すごとに、 OFF → ACC → IG → OFF … の順に切り替わります。) → 約3秒後にジャンクションユニットから『ピピッ』音が出ます。
- 4) ブレーキペダルを踏み込みます。(ブレーキペダルは踏み込んだままの状態にしてください) → ジャンクションユニットから『ピッ』音が出ます。
- 5) ブレーキペダルを離します → ジャンクションユニットから『ピロロロロ』音が出ます。
- 6) プッシュスタートスイッチを押して電源を OFF にします。

● エンジンスターター特殊制御の設定を OFF に変更する

\* 設定変更の手順は、エンジンスターターの取扱説明書 (エンジンスターター特殊制御設定の頁) を参照してください。